

# 令和7年度 英語教育推進事業(岐阜地区) 北方町立南学園

ココが南学園の英語のウリ！

9年間で見通した力を見通して、教科書を大切にしながら指導をしています！

## 研究主題

自ら学びを深める児童生徒の育成  
～自分の考えをもち、伝え合う力を伸ばす学習活動の創造～

### 主張点①

教科の見方・考え方を位置付けた単元構想図の作成

3 北方町「Can-Doリスト」(第9学年) とのかかわり

社会的な話題に関して聞いたこと、その理由などを、簡単な社会的な話題について、簡単な話とができる。

9年間を見通した学習到達目標に基づき、単元の目標と評価規準を設定しています。

### 主張点②

教科の見方・考え方を働かせ 仲間と学び合う指導方法の工夫

(2) 本時の展開

| 時間 | 学習内容・学習活動  | 指導上の留意点   |
|----|--|---|
| 導入 | 1. Small Talk<br>○information gapのある活動を行う。ペアで互いに写真からわかることを英語で説明する。<br>A: 発展途上国で教育を受けず働いている子どもの写真<br>B: 日本から送られたランドセルや支援物資を持ち、笑顔を浮かべる子どもの写真<br>3. Today's aim | ・仮定法の表現(I would ~because~)を板書し生徒が選択して使用できるようにする。<br>・制限時間を設けることで対話を続けようとする姿がみられるようにする。<br>・本時の課題である「もし~なら…」に自然につなげる導入とする。<br>・写真から読み取れる情報と言葉を引き出し、板書する。 |

Small Talkと本時の課題を「内容」と「言語」からつないでいます。

読むことの要点を掴ませてから、話すこと[やり取り]の指導をしています。

○広告が一番伝えたいメッセージを1文で示す。  
5. Talking time  
○課題で示した質問についてペアを変えながら伝え合う。  
“If you were the child in this ad, what would you feel or do?”

## 成果と課題

- 9年間を見通した学習到達目標に基づき、単元の目標を設定することで系統的な指導をすることができた。
- 教科書の言語材料を活用しながら、段階的に表現力を高めることができた。
- 伝え合う活動において、目的や意図をもって伝えようとする姿は向上してきたが、表現内容の深まりに課題がある。

## 掲載資料

- ① Can-Doリスト ② 評価規準 ③ 単元指導計画 ④ 本時の展開

令和7年度 岐阜県教育委員会指定「英語教育推進事業」

(兼 第4回 北方町英語教育推進部会)

# 公開授業指導案



北方町立南学園



北方町 英語教育 CAN DOリスト(060322版)

|     | 聞くこと   | 読むこと   | 話すこと(やりとり)  | 話すこと(発表)   | 書くこと   |
|-----|--|--|---|--|--|
| 9年生 | <p>ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。</p> <p>イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができる。</p> <p>ア 自然な速度に近い音声ではっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。</p>   | <p>ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。</p> <p>イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。</p> <p>ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。</p>    | <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、事実や意見に賛否を加えて述べ合うことができる。</p> <p>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、メモなどを活用しながら、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。</p> <p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。</p>                       | <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。</p> <p>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、メモなどを活用し、情報や感想を加えながら、まとまりのある内容を話すことができる。</p> <p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。</p>                    | <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。</p> <p>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、メモなどを活用しながら文章構成の特性を意識して、まとまりのある文章を書くことができる。</p> <p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。</p> |
| 8年生 | <p>イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話全体を通しての概要をおおよそ捉えることができる。</p> <p>ア 自然な速度に近い音声ではっきりと話されれば、日常的な話題について、目的に応じて、また自分の置かれた状況などから判断して必要な情報を聞き取ることができる。</p>   | <p>イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要をおおよそ捉えることができる。</p> <p>ア 日常的な話題について、目的に応じて、また自分の置かれた状況などから必要な情報を読み取ることができる。</p>   | <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。</p> <p>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、意見に賛否を加えながら、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。</p> <p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。</p>                        | <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。</p> <p>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。</p> <p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。</p>                              | <p>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。</p> <p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。</p>   |
| 7年生 | <p>イ はっきりと話されれば、学校生活や家庭生活などにおける日常的话题について、話の概要をおおよそ捉えることができる。</p> <p>ア はっきりと話されれば、学校生活や家庭生活などにおける日常的话题について、目的に応じて知りたいことや欲しい情報などの必要な情報を聞き取ることができる。</p>   | <p>イ 学校生活や家庭生活などにおける日常的话题について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要をおおよそ捉えることができる。</p> <p>ア 学校生活や家庭生活などにおける日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたものから、目的に応じて知りたいことや欲しい情報などの必要な情報を読み取ることができる。</p> | <p>イ 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。</p> <p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。</p>  | <p>イ 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、伝える順序を考えた上で、簡単な語句や文を用いて話すことができる。</p> <p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。</p>  | <p>イ 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、つながりのある文章を書くことができる。</p> <p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。</p>   |
| 6年生 | <p>ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、視覚的な情報を参考にしながら、短い話の概要を捉えることができるようになる。</p> <p>イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。</p> <p>ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。</p> | <p>イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようになる。</p> <p>ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。</p>  | <p>ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、質問したいことを自分で考えて質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようになる。</p> <p>イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようになる。</p> <p>ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに自分で考え判断して、応じたりすることができるようにする。</p> | <p>ウ 身近で簡単な事柄について、話す内容を選んだり、順番を決めたりした上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようになる。</p> <p>イ 自分のことについて、話す内容を選んだり、順番を決めたりした上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようになる。</p> <p>ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようになる。</p> | <p>イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようになる。</p> <p>ア 文字の高さの違いや紛らわしい形を意識し、大文字、小文字を活字体で正しく書くことができるようになる。また、語と語の区切りに注意して、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようになる。</p>   |
| 5年生 | <p>イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。</p> <p>ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、イラストや写真と結び付けるなどして、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。</p>  | <p>ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。</p>   | <p>ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようになる。</p> <p>イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。</p> <p>ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。</p>                         | <p>ウ 身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようになる。</p> <p>イ 自分のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようになる。</p> <p>ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようになる。</p>   | <p>ア 文字の高さの違いや紛らわしい形を意識し、大文字、小文字を活字体で正しく書くことができるようになる。また、語と語の区切りに注意して、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようになる。</p>   |
| 4年生 | <p>ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようになる。</p> <p>イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようになる。</p> <p>ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようになる。</p>  |  | <p>ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。</p> <p>イ 自分のことや身の回りの物について、動作や表情を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。</p> <p>ア 基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりするようにする。</p>                          | <p>ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようになる。</p> <p>イ 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単に慣れ親しんだ語句や基本的な表現を用いて話すようになる。</p> <p>ア 身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようになる。</p>                 |  |
| 3年生 | <p>イ ゆっくりはっきりと話された際に、イラストや写真などを手掛かりとして、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようになる。</p> <p>ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句をおおよそ聞き取るようになる。</p>  |  | <p>イ 自分のことや身の回りの物について、動作や表情を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。</p> <p>ア 基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりするようにする。</p>   | <p>イ 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようになる。</p> <p>ア 身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようになる。</p>   |  |

# 外国語科学習指導案

## 1 単元名 NEW HORIZON English Course 3 (東京書籍)

Unit 6 What does it mean to be a global citizen? (3/11)

## 2 単元の目標

社会の一員として責任ある行動をしていくことや国を超えた世界の人々と共に助け合っていこうとするために、世界の取り巻く現状を自分事として捉えることができる。また、社会の一員としての自分の抱負についての事実や考えを整理し、文章の構成を意識しながら簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を相手に伝えることができる。

## 3 北方町「Can-do リスト」(第9学年) とのかかわり

|              |   |
|--------------|---|
| 話すこと<br>[発表] | ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。 |
| 読むこと         | ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。                           |

## 4 単元の評価規準

|              | 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に取り組む態度   |
|--------------|---|---|--|
| 話すこと<br>(発表) | <p>&lt;知識&gt;<br/>仮定法や主語を説明する関係代名詞の表現を用いた文の構造を理解している。</p> <p>&lt;技能&gt;<br/>仮定法と主語を説明する関係代名詞の表現を用いた文の理解をもとに現実とは異なる立場での意見や願い事を伝える技能を身につけている。</p>     | <p>社会の一員として責任ある行動をしていくことや国を超えた世界の人々と共に助け合っていこうとするために、世界の取り巻く現状を自分事として捉え、社会の一員としての自分の抱負について、事実や考えを整理し、文章の構成を意識し簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を伝えている。</p> | <p>社会の一員として責任ある行動をしていくことや国を超えた世界の人々と共に助け合っていこうとするために、世界の取り巻く現状と自分の抱負について、自分事として捉え、事実や考えを整理し、文章の構成を意識し簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を伝えようとしている。</p> |
| 読むこと         | <p>&lt;知識&gt;<br/>仮定法や主語を説明する関係代名詞の意味や働きを理解している。</p> <p>&lt;技能&gt;<br/>仮定法や主語を説明する関係代名詞などの意味や働きの理解をもとに、現実とは異なる立場の話について書かれた文章の概要を読み取る技能を身につけている。</p> | <p>社会の一員としての自分の抱負を考えるために、国際協力の現状について書かれた文章の要点を捉えている。</p>  | <p>社会の一員としての自分の抱負を考えるために、国際協力の現状について書かれた広告文や対話文、意見文などの要点を捉えている。</p>  |

## 5 単元について

### (1) 教材観

本単元は、発展途上国の子どもたちの生活実態を扱った文章を読み取り、地球に暮らす一員として自分自身のあり方を考える場面である。本文では、問題点やその背景、支援の手立て、他国の日本とのつながりについて示されている。言語材料として、仮定法や理由、意見を述べる表現などが使用されている。これらの表現を用いることで「自分とは異なる立場に立つこと」や「自分の考えを理由づけて述べること」が期待できる。本時においては、広告文に示された問題点を自分事として理解するために、仮定法を用いて自分の思いを仲間と伝え合う活動を行う。本文から読み取った情報や自分の経験を根拠にして考えを形成し対話を通して考えを深めていくことをねらいとする。

### (2) 生徒観

本学級の生徒は、前向きに学習に取り組む生徒が多く、ペアやグループでの交流学习に意欲的である。英語での発話に前向きな生徒がいる反面、読解に不安をもつ生徒が3割ほどおり、概要や要点を捉えることが難しい姿も見られる。そのため、視覚的な手がかりや段階的な問いを用いて読みを支援する必要がある。日本語での意見交流は活発で、本文から得た情報をもとに自分の考えを形成することができる。また仮定法を用いた身近な問いは興味を引きやすく他者の立場に立って考える活動も成立しやすいと考える。

### (3) 指導観

本単元では、世界の課題に目を向け、得た情報から自分の考えを形成し、発表へとつなげていく学習となる。読解に不安のある生徒には、段落構造・問いの手がかりを段階的に提示し概要や要点を捉えやすくする指導を行う。また、仮定法を用いて自分とは異なる立場に立って考える活動を位置づけ、理由や根拠を添えて考えを説明できるようにする。単元後半では、自分の選んだテーマで調べた内容を整理し、聞き手に分かりやすい構成で発表できるように支援していきたい。

## 6 研究とのかかわり

### 【研究①に関わって】

本単元に出てくる発展途上国への支援については、旧教科書の4年生の国語科「ランドセルは海を越えて」で学習した内容である。そのため、写真を掲示し学習内容を想起できるようにする。また、9年生「Unit4 How can we help each other?」で日頃の生活や災害時に互いに助け合うための行動について考えをまとめており、協力し合うという点で学習内容を想起することができる。

### 【研究②に関わって】

本時では、話し始めの表現や対話活動中に出てきた良い表現、不安な表現を板書したり、相手の発言に1つ以上質問をするという条件などを設定したりして、対話が続けられるような支援をする。単元の最後には、自分の選択した話題について、抱負をまとめていく活動となる。その際は、同じ話題のグループで活動したり、別々の話題のグループで活動したりと、交流するメンバーを変えながら活動することで、より多くの仲間の姿から自分の考えや表現を形成できるようにする。

### 【研究③に関わって】

単元の最後の活動で、プレゼンテーションの原稿を作成する。9、10時間目には原稿の内容や表現を再構築したり、話し方の練習をしたりする時間となる。その際に、訂正した部分を赤字で書き加えることで変容が分かるようにする。また話すときのポイントを原稿に青字で書き加えることで「ただ読む発表」でなく、「相手に伝えようとする発表」を目指した原稿となるようにする。そのため、本時では、やり取りを通して自分の考えが広がったことを確認できるようにするために最後に話したことを録音する活動を設定した。

## 7 単元の指導計画と評価計画

|  |   | 北方町 15 年カリキュラムとの関わり                          |                   |    |
|--|---|--|-------------------|----|
|  |   | これまでの学年の外国語科の学習とのつながり                        | これまでの学年の他教科とのつながり |    |
| 9 年生 Unit4 “How can we help each other in a disaster?” |   | 4 年生国語科「ランドセルは海を越えて」<br>9 年生社会科「現代社会の特色と私たち」 |                   |    |
| 時  | ◆ねらい ○主な活動 ・アクティビティ   | 評価   |                   |    |
|  |   | 知技   | 思判表               | 態度 |
|  |   | ◎評価規準  |                   |    |
| 1  | <p>◆単元の見直しをもつ。</p> <p>○Let's check.</p> <p>・ Preview や JTE のプレゼンテーションを見て、単元の題材を確認する。</p> <p>○Watch &amp; Listen Time</p> <p>・ 世界が取り巻く現状について話を聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     What did you catch from teacher's presentation?                 </div> <p>・ JTE のプレゼンテーションを見て、必要な情報を捉える。</p> <p>○Taking time ・ 世界の取り巻く現状について話をする</p> <p>○Thinking time ・ 単元出口の活動で発表するトピックを決める。</p>  |  |                   |    |
| 2  | <p>◆仮定法を用いて、自分の願望を伝え合う。</p> <p>○Small Talk “What do you usually do on New year's eve?”</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     If you won the lottery, what would you do?                 </div> <p>○仮定法の表現を用いた文構造を理解する。</p> <p>○Practice ・ 仮定法を用いた英文を書く。</p> <p>○Talking Time</p> <p>・ 「もし宝くじが当たったら何したい？」のテーマで仲間と伝え合う。</p> <p>A: I would buy my home and my car. How about you?</p> <p>B: I would go on a trip .</p> <p>A: Sounds good. Where do you want to go?</p>                                    |  |                   |    |
| 3<br>本<br>時  | <p>◆本文から必要な情報を読み取り、仮定法を用いて。(教科書 P.78)</p> <p>○Small Talk “Explain the picture to your partner.”</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     If you were a child, what would you feel or do?                 </div> <p>○本文を読み、概要を捉える。また要点(この広告が一番何を伝えたいか)を考え、仲間と交流する。</p> <p>○Talk &amp; Write Time</p> <p>・ 「もしあなたがその立場だったら？」をテーマに仲間と伝え合う。</p> <p>また、自分の今の生活について思いを伝えるようにする。</p> <p>A: I couldn't eat foods I like. I couldn't understand English.<br/>I think to be able to study is a wonderful thing.</p> |  |                   |    |
| 4  | <p>◆本文から必要な情報を読み取り、自分たちにできることは何か考え、伝え合う(教科書 P.79)</p> <p>○Small Talk “If you could live anywhere , where would you live in? ”?”</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     What can we do as a global citizen?                 </div> <p>○本文を読み、対話の概要を捉える。</p> <p>○Practice ・ 比較級や最上級を用いた英文を書く。</p> <p>○Talking Time 1</p> <p>・ 「What can we do to help the children?」をテーマに仲間と伝え合う。</p> <p>Talking Time 2</p> <p>・ 異なる問題について取りあげ、”What can we do to help it?” のテーマで伝え合う。</p>                                |  |                   |    |
| 5  | <p>◆理子のスピーチを聞いたり読んだりして、文章構成を捉え、全体の概要を捉える。(教科書 P.80,81)</p> <p>○主語を説明する関係代名詞を用いた文構造を理解する。</p> <p>○Practice ・ 主語を説明する関係代名詞を用いた英文を書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     Let's add a title to each paragraph.                 </div> <p>○Reading time</p> <p>・ 各段落のトピックとなる 1 語を選択。その後を用いて、各段落にタイトルを 5～7 語で作る。そのタイトルで「導入」「展開」「結論」の文章構成を確認する。</p>  | 読む   |                   |    |

記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。

[知・技]  
仮定法や主語を説明する関係代名詞などの意味や働きの理解をもとに、現実とは異なる立場の話について書かれた文章の概要を読み取る技能を身につけている。

|    |  |  |       |       |  |
|----|--|--|-------|-------|--|
| 6  | <p>◆理子のスピーチを聞いたり読んだりして、国際協力の現状について書かれた文章の要点を捉える。(教科書 P.80,81)</p> <p>○Small Talk “Where do you think it was made?”</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Let's find the writer's main message.</div> <p>○Thinking time ・筆者の主張とその根拠になる部分を考える。<br/>○Taking time ・見つけた主張と根拠について仲間に伝える。<br/>・3つの要点の候補を出し、話し合う。</p>   |  | 読む    | 読む    | <p>[思・判・表] [主]<br/>社会の一員としての自分の抱負を考えるために、国際協力の現状について書かれた文章の要点を捉えている。</p>   |
| 7  | <p>◆筆者の主張を受け、お互いに助け合うことについて自分の考えを伝え合う。(教科書 P.80,81)</p> <p>○Small Talk “Who helped you recently?”</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Let's share our ideas about helping each other.</div> <p>○Thinking and Talking Time<br/>・筆者の主張”We need to help each other beyond borders.”について自分の意見を賛成・反対の立場で考え、伝え合う。<br/>○Writing Time ・自分が話した内容を書きまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">I agree with this idea because many people need support. For example, some children cannot go to school. And they are illiterate. So I think helping each other is important. I want to send them my backpacks .</div> |  | 話す(発) | 話す(発) | <p>◎ [思・判・表] [主]<br/>世界の取り巻く現状を自分事として捉え、事実や自分の考え、気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話し、伝えている。</p>  |
| 8  | <p>◆自分が決めたトピックについての発表内容を考える。(教科書 P.82)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Let's collect information and make 3 key sentences for our presentation.</div> <p>○Thinking Time<br/>・出口の活動で発表する世界の現状や問題について集めた情報をメモで整理する。<br/>○Talking Time<br/>・同じトピックのグループで集まり、”Fact” ”Opinion” ”hope”の構成で即興で伝え合う。内容や表現について尋ね合う。<br/>○Writing<br/>・尋ね合い改善した内容も踏まえ、文章で書く。</p>   |  |       |       | <p>★本時では、目標に即して指導は行いが、記録に残す評価は行わない。</p>  |
| 9  | <p>◆伝わりやすい構成を考え、プレゼンテーションを再構築する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Let's make our presentation easy to understand.</div> <p>○Talking and thinking time<br/>・異なるトピックのメンバーでグループを組み、書いたことをもとに発表する。互いに聞き合い、伝わりやすい構成の条件を考える。<br/>・条件をもとに再構成する。互いに発表し合い、追加内容や適切な英語表現について伝え合う。<br/>○Writing ・推敲した内容で原稿を書く。</p>  |  | 話す(発) | 話す(発) | <p>[知]<br/>仮定法や主語を説明する関係代名詞の意味を理解している。<br/>◎ [思・判・表] [主]<br/>自分の抱負について、事実や自分の考え、気持ちを整理し、文章の構成を意識し簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話し、伝えている。</p>                                      |
| 10 | <p>◆伝わりやすい話し方を考え、発表練習をする。</p> <p>○Thinking time<br/>・ALT のモデルを聞き、伝わりやすい話し方の条件を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Let's practice our presentation clearly.</div> <p>○Thinking and taking time<br/>・chunking(区切る)/ Stress(強調)/Eye contact(視線)を意識して練習する。<br/>・同じトピックのメンバーでグループを組み、互いに発表し合う。必ずフィードバックを伝え合う。<br/>○Review ・プレゼンテーションの内容の変容を確認する。</p>   |  | 話す(発) | 話す(発) | <p>[技]<br/>仮定法と主語を説明する関係代名詞の表現を用いた文の理解をもとに現実とは異なる立場での意見や願い事を伝え合う技能を身につけている。<br/>◎ [思・判・表] [主]<br/>自分の抱負について、事実や自分の考え、気持ちを整理し、文章の構成を意識し簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話し、伝えている。</p> |
| 11 | <p>◆地球市民の1人としての抱負について発表することができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Let's talk about your opinion as a global citizen.</div> <p>○Talking<br/>・互いに意見を伝え合う。相手の意見に対して感想を伝え合うようにする。フィードバックシートに仲間の発表内容や話し方のよさについて書く。<br/>・Unit Question について、自分の考えを書く。</p>   |  | 話す(発) | 話す(発) | <p>◎ [知・技]<br/>世界の現状や自分の思いを伝える技能を身につけている。<br/>◎ [思・判・表] [主]<br/>自分の抱負について、事実や自分の考え、気持ちを整理し、文章の構成を意識し簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話し、伝えている。</p>                                   |

## 8 本時の学習（全11時間中の第3時）

### (1) 本時の目標

広告文から世界の子どもの現状とメッセージを読み取り、自分がその立場だったらどう感じるかを理由とともに仲間と伝え合うことができる。【思考・判断・表現 / 主体的に学習に取り組む態度】

### (2) 本時の展開

| 時間  | ○学習内容・学習活動  | 指導上の留意点   | 評価規準【評価方法】   |
|-----|---|---|--|
| 導入  | <p>1. Small Talk 1</p> <p>○information gap のある活動を行う。ペアで互いに写真からわかることを英語で説明する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: 発展途上国で教育を受けず働いている子どもの写真<br/>B: 日本から送られたランドセルや支援物質を持ち、笑顔を浮かべる子どもの写真</p> </div> <p>3. Today's aim</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>If you were a child in this ad, what would you feel or do?</p> </div>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮定法の表現(I would ~because~.)を板書し生徒が選択して使用できるようにする。</li> <li>・ 制限時間を設けることで対話を続けようとする姿がみられるようにする。</li> <li>・ 本時の課題である「もし~なら…」に自然につなげる導入とする。</li> <li>・ 写真から読み取れる情報と言葉を引き出し、板書する。</li> <li>・ 写真 A/B の違いから、本時広告文を読む必然につなげる。</li> </ul>   |  |
| 展開  | <p>4. Reading time</p> <p>○2つの問いの答えを見つけるため、広告文を読む。</p> <p>(1) What is the problem in this place?<br/>→ Children cannot go to school.</p> <p>(2) What is the main message of this ad?<br/>→「学校にいけない子がいることに気付いてほしい」<br/>「世界の子どもたちの生活を想像してほしい」</p> <p>○広告が一番伝えたいメッセージを1文で示す。</p> <p>5. Talking time</p> <p>○ 課題で示した質問についてペアを変えながら伝え合う。</p> <p>“If you were the child in this ad, what would you feel or do?”</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: I would feel sad because I cannot study with my friends.<br/>B: I see. I don't want to go to school sometimes. But, If I were in this place, I would want to go to school every day.</p> </div> <p>○中間交流</p> <p>○後半の活動</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体で音声を聞き、読み方を確認する。</li> <li>・ (1)は、英語で答え、(2)は日本語で答えるようにする。どちらも本文の中のどの部分を根拠にしているか明確にするように促す。</li> <li>・ 一番伝えたいメッセージを自分の言葉にすることで対話につなげる。要点が「ランドセルを送るキャンペーンを紹介している広告だ。」や「学校は行くべきだ」などにそれてしまわないようにする。文章中の“I wish”や読み手への問いかけなどに注目する。</li> <li>・ 言語面の指導として机間巡視で把握した不安な表現や良い表現は板書する。</li> <li>・ 中間指導では、内容面の指導として以下のような視点から選んで指導する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手の意見を受け止める反応や質問、感想などを伝える。</li> <li>・ 広告文を読んで考えたことや大切だと思うことを含める。</li> <li>・ 自分の日常を思い返してみる。</li> </ul> </div> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一番伝えたいメッセージを読み取り、学習プリントに自分の言葉で書いている。</li> </ul> <div style="border: 3px double black; padding: 5px;"> <p><b>評価規準</b></p> <p>広告文から世界の子どもの現状とメッセージを読み取り、自分がその立場だったらどう感じるかを理由とともに仲間と伝え合っている。</p> <p><b>【対話活動】</b></p> </div> |
| まとめ | <p>6. Recording</p> <p>○話したことを録音する。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ やりとりして整理した内容を録音して記録する。</li> </ul>  |  |